



『積み重ね』 子供たちの力を感じた学習発表会

音楽専科 荒牧 憲子

日増しに冬の寒さを感じる季節となり、気がつけば今年も残すところあとわずかとなってまいりました。先月に行われた学習発表会には、多くの保護者・地域の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。

舞台発表では、すべての学年、すべての子供が、まばゆいスポットライトの光の中で、ほどよい緊張感をもちつつ積み重ねてきた力を遺憾なく発揮することができました。本番を迎えるまでは、時間をつくって練習をしたり、子供同士、真剣に話し合いをしたりしていました。一人一人が自分の役割に責任をもち、よりよい発表に向けて頑張りました。そのような工夫が自主的にできたのも、4月からの約8か月間、日々学び続けてきた学習の『積み重ね』があったからだと感じています。

子供たちは、常にいろいろな角度に成長しています。日常では気付きにくい小さな成長も、このような大きな行事を乗り越えることで改めて実感できたことでしょう。そして、これからまた『積み重ね』ていく学習が、さらなる成長を見せてくれることと思います。

練習のたびに、いつも上達しているわけではありませんでした。他の友達と比べて落ち込んでしまったり、わかっているのに、思ったほどうまくいかなかったりと、心が折れることもあったと思います。そういった経験を繰り返しながら、学習発表会の当日は、実に晴れやかな、そして自信に満ちた表情で、臨むことができたと思います。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様、大きな拍手と多大なるご支援、本当にありがとうございました。

1年生担任 金井 俊賢

1年生は、「せいちょうしたよ！ 1ねんせいとおおきなかぶ」と題し、入学してからこれまで、たくさんのお話を学び、成長してきたことを、国語の教科書に出てきた「おおきなかぶ」のお話を紹介しながら発表しました。

合言葉の通り、「**お**おきなこえで・**お**もいっすり・**き**れいなしせいで・**な**かまときょうりよくし・**か**っこいい・**ぶ**たいにしよう！」というめあてに向かって頑張ることができました。初めての学習発表会の喜びを大切にして、さらに成長して行ってほしいと思います。

また、展示では個性あふれる素敵な作品が並び、子供たちは友達の創意工夫を見つけ、笑顔で感想を伝え合っていました。



2年生担任 永澤 永子

2年生は、「一致団結」をテーマに、歌「MIDORI～繋がる輪～」 「ドンマイ！」、合奏「パプリカ」を演奏しました。練習の中では、それぞれの楽曲の特徴を捉え、それがはっきり分かるように真剣に取り組みました。内容的には2年生にとっては高度な挑戦でしたが、「一致団結」して、難しいことも乗り越えることができました。緑の輪を頭に巻き、パプリカ色の衣装に身を包んだ子供たち。本番が終わったときの表情は、満足感であふれていました。

また、作品展示の「ぎゅっとしたい わたしのお友だち」では、子供一人一人の個性や持ち味のよさが広がり、素敵な作品となりました。

発表会を終えて、来年に向けての目標をもった子供たち。これを機会に、意欲をもってさらに大きく成長してほしいと思います。



3年生担任 菅井 歩美

3年生は、「自分達も・観ている人も楽しく」をめあてに、劇「おかしのすきなかいぞくのおかしなおかしなおかしな旅」を演じました。

もっと恥ずかしがるかな…と思いきや、場面ごとの練習から意見を出し合い、役になりきろうと一生懸命に頑張っている姿が印象的でした。また、小道具のおかしやロボットの衣装などの、道具作りにも意欲的に取り組んだり、練習後には多くの子供たちが改善点を発表したりと、「劇を成功させたい！」という子供たちの思いが伝わってきました。

本番では、多くの方から拍手をいただき、大きな達成感を味わうことができました。みんなの力が合わさることの楽しさや喜びを、これからも忘れないでほしいと願っています。



4年生担任 矢野 篤彦

4年生は、「4年生の仲間で協力して、聞いている人が分かりやすく、びっくりするような、心に残る発表をしよう」というめあてを立てて学習発表会プロジェクトに取り組みました。

AIについては、本や雑誌、新聞記事だけではなく、タブレットも使って、調べ学習を行いました。難しいテーマでしたが、学習が深まっていく中で、調べたことを発表したいという気持ちも大きくなっていきました。

番組の台本も4年生が作成しました。自分たちが楽しむだけではなく、聞いている人にも興味・関心をもってもらえるように、様々な工夫を凝らしました。プロジェクトをやり遂げ、達成感をいっぱい味わった4年生の今後が楽しみです。



5年生担任 小沼 繁徳

5年生は、合唱「ほたるこい」と「越えてゆけ」の2曲、合奏は「カルメンー第一幕への前奏曲ー」と「アフリカン・シンフォニー」を披露しました。

音楽室で練習していたときは、合唱の声がなかなか出ないことがありました。体育館での練習になってから徐々に声量も上がり、きれいな歌声を響かせることができるようになってきました。

合奏には、休み時間の自主練習も含めて、意欲的に取り組む姿が見られました。曲の途中でテンポがずれてしまったり、演奏の終わりが揃わなかったりすることもありましたが、音楽の荒牧先生の話をよく聞いて全体で合わせていきました。

何よりも、みんなが指揮者を向いて、真剣に歌ったり演奏したりしている姿が高学年らしく、大きな成長を感じることができました。



6年生担任 高橋 望

小学校最後の学習発表会。6年生は、「真実の歌」を演じました。

場面ごとに集まって練習し始めたときには、気が緩んだり、恥ずかしそうに演技をしたりする様子も見られましたが、舞台での練習が始まると、上手な友達の演技に刺激を受け、役になりきり、堂々と演じられるようになりました。

高学年として、驚いたり、戸惑ったりと、台詞がないときもずっと演技し続けることや、いかに自然に、かつ観ている人に分かりやすい演技をするかということを追求しました。自分たちで試行錯誤しながら練習を積み重ね、劇がどんどんよくなっていきました。

みんなで力を合わせて練習し、創り上げた達成感や充実感を、大人になっても忘れないでほしいと願っています。



<2学期の終業式の日々の時程と下校時刻>

※12月25日(水)は、2学期の終業式です。この日の時程は、4時間授業で、給食もないため、下校時刻は12時30分頃の予定です。